



報道関係者各位

2014年2月27日  
株式会社ネットマークス

## ネットマークス、ネットワークのトラフィック遅延を監視する CorviNet シリーズを販売開始

ネットワーク・ソリューションプロバイダの株式会社ネットマークス（東京都江東区豊洲、代表取締役社長 佐藤 宏、以下 ネットマークス）は、CORVIL LIMITED（アイルランドダブリン、CEO ドナル・バーン、以下 コービル社）と販売代理店契約を締結し、同社が提供する CorviNet シリーズを本日より販売開始いたします。本製品は、ネットワーク上のトラフィックをキャプチャ・分析し、遅延を管理・監視するネットワーク監視ツールであり、ナノ秒単位の遅延を可視化することが可能です。その為、極めてわずかな遅延も許されないリアルタイム性を求められるシステムの監視に有効です。また、既存ネットワークに配置されたスイッチ等から情報を収集する為、既存のネットワークに影響を与えることなく、ご利用いただけます。本製品の導入価格は、約 700 万円（ローエンドモデル CNE-2100 の場合）からとなります。



昨今、情報通信技術の進化とともに、高速な IT 機器を利用したネットワーク通信利用が広がっています。高速処理の IT 機器を駆使して、ミリ秒単位で膨大なデータ転送を行うことが可能となり、高速処理が必要な低遅延ビジネスソリューションが増えてくるようになりました。その結果、それらのミリ秒単位、ナノ秒単位のデータ転送の正常性を管理し、可視化することが重要な課題となっています。

この問題を解決するためにネットマークスは、コービル社の CorviNet シリーズを遅延管理ソリューションとしてご提供します。

ナノ秒という単位で遅延やバーストトラフィックなどの事象を監視分析でき、アプリケーション層のキャプチャデータもデコードできることから、遅延やバーストトラフィックの発生原因がアプリケーションによるものか、ネットワークによるものかを峻別することができます。また遅延の原因がネットワーク上にある場合はその箇所も瞬時に特定することができ、有効な設備投資の判断材料となるため、無駄な投資を抑制しコスト削減に繋がります。

さらに、ネットワークデータをすべてキャプチャするため、証左ログとして保存することが可能です。データが正確にキャプチャされているため、透明性と正確性を満たすシステムであることを第三者に対して証明できます。

近年では低遅延システムの重要性が高まり、金融取引システムからオンラインゲーム、VDI (Virtual Desktop Infrastructure)、ビデオ配信システムまで適用範囲が広がっており、ネットマークスでは、金融業やゲーム・動画などのコンテンツプロバイダ、大規模 EC サイト運営事業者など、エンタープライズのお客様を中心に拡販してまいります。

以上

<CorvilNet シリーズの特長>

- ・ キャプチャされたネットワーク情報の可視化
- ・ ナノ秒単位の遅延やバーストトラフィック、ジッターを表示
- ・ 複数のネットワークタップのデータを集約し、管理・監視
- ・ SDK ソフトウェア開発キットによる柔軟なデコーダ開発
- ・ FIX プロトコルも含め、多くの電子証券取引用プロトコルをサポート
- ・ 世界の主要証券取引所をはじめとする豊富な顧客実績

\* 記載されている会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です

\* 上記価格、出荷(サービス)開始時期については予告なく変更する場合があります



<本ニュースリリースに関するお問い合わせは下記までお願い致します>

株式会社ネットマークス 企画管理部 経営企画室 神戸・齊藤

Tel:03-5144-1110 Mail:press@netmarks.co.jp

■株式会社ネットマークスについて

ネットマークスは、ネットワークシステムの構築をベースに、ユニファイドコミュニケーションやデータセンターソリューションなど最先端の技術に基づき、トータルにお客様をサポートしております。

ICT 基盤の構築や最適なソリューションのご提供、24 時間 365 日対応のアウトソーシングサービスなど、進化する企業コミュニケーションに求められる様々な課題にお応えしてまいります。

ネットマークスに関する詳しい情報は以下の Web サイトをご参照ください。

<http://www.netmarks.co.jp/>